

行政評価における課題に対する方針案(修正版)

評価の内容に関すること

●課題

評価シートの 構成等	・記載内容を理解するのが難しい ・現在の評価区分が妥当か検討する必要がある
指標	・指標の設定が適切でない事業がある ・指標以外の効果についての説明が不十分な事業がある

●方針1

区民に分かりやすい評価

- 情報の質と量の更なる適正化を図り、評価の視点を整理するなど、評価内容を分かりやすくする
- 指標設定の基準を明確化し、統一的に改善を図る

方針に基づく
行政評価手法の改善例

- ・評価シートの見直し（内部評価）
- ・指標設定の見直し（内部評価）

評価の方法に関すること

●課題

評価の対象	・評価対象である事業の、施策体系における位置付けが分かりにくい ・長期に渡る事業の場合、年度間における実施内容や評価内容に差がなく、単年度の評価が難しい ・評価対象とする施策及び事業を整理する必要がある
評価の作業	・評価を実施する上でも効果性・効率性を重視する ・実際の評価の中で視察を行う

●方針2

評価の質的向上

- 事務事業単位の評価から、施策単位の評価へ重点を移し、より大きな視点で区政をとらえる
- 施策について集中的に審議した上で評価を行う

方針に基づく
行政評価手法の改善例

- ・施策評価への移行（内部評価・外部評価）
- ・評価作業の見直し（内部評価・外部評価）

評価の運用に関すること

●課題

行政評価の反映	・外部評価意見を踏まえた区の対応状況（総合判断が出た後の実際の取組状況）を明らかにする必要がある
評価の文化の 定着・深化	・職員が行政評価の意義をより一層理解し、内部評価の充実を図る必要がある

●方針3

職員意識の向上

- 評価結果の反映状況を明らかにし、評価目的（計画の進行管理）の再認識と政策形成能力の向上を図る
- 行政評価を通じて、これまで以上に説明責任の意識づけを行う

方針に基づく
行政評価手法の改善例

- ・行政評価の反映状況の明示（内部評価）
- ・区民への説明責任の強化（内部評価）